

再開発ビル等の再整備に関するアンケート

■再開発ビルが取り壊され、駐車場・広場として活用されている事例 4地区

番号	都道府県	市町村	問5		
			当初	経過 ①キーテナント撤退 ②近隣大型店舗の影響 ③不況の影響、経営不振 ④その他	経過の類型
1	新潟	三条市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区名 昭栄地区A街区(A-2棟) (パルム1) ・地区面積 0.8 ha ・建築工事完了公告 昭和63年3月 ・敷地面積 4,527 m² ・建築面積 3,795m² ・延べ面積 17,157 m² ・地上6階 地下0階 ・主要用途 店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ・H13.1 キーテナント撤退 閉店 ・市としては都市政策の観点から何らかの対応が必要として、新たな買い受け先を探索 ・更地であれば取得するという企業が現れた事により取り壊し ・H22.1 三条市「パルム1」の処理方針の公表 	①
2	大阪	高石市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区名 高石駅東D地区 ・地区面積 1.3 ha ・建築工事完了公告 昭和53年9月 ・敷地面積 12,793m² ・建築面積 6,366m² ・延べ面積 30,426m² ・地上12階 地下1階 ・主要用途 店舗、住宅、事務所、駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> ・1号棟 スーパーが退去、解体 現在は、コインパーキング ・2号棟 事務所棟 ・3号棟 1階店舗、2～7階 分譲住宅 ・4号棟 市保健センター、府営住宅 	③
3	広島	三原市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区名 三原駅前地区 (ペアシティ三原) ・地区面積 2.8ha ・建築工事完了公告 S56年3月 ・敷地面積 11,128.6m² ・建築面積 8,350m² ・延べ面積 56,664.68m² ・東棟:地上9階 地下2階,西棟:地上8階 ・主要用途 百貨店、ホテル、金融機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・H18.3 東棟から百貨店(天満屋)が撤退 ・不動産会社が東棟の百貨店の床を取得し、建替え計画を表明 ・東棟の解体後、事業が頓挫 ・東棟跡地を三原市が購入 ・暫定措置として、市民に開放し「市民広場」として活用 	① ②
				<ul style="list-style-type: none"> ・H8 西館の核店舗が撤退 1～2階 三原都市開発(株)が取得しテナントに賃貸 3～4階 市が取得し、総合保健センター ・H15 市が三原都市開発(株)の所有していた西館の1～2階を取得 	
4	福岡	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区名 清川一丁目地区 ・地区面積 5.8 ha ・建築工事完了公告 昭和44年 ・敷地面積 2,372m² ・建築面積 2,120m² ・延べ面積 9,024m² ・地上5階 地下2階 ・主要用途 店舗、住居、機械室、倉庫、駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年から民間会社がビルの買収を行い、平成18年に全ての所有権者の買収が終わり ・買収した民間会社によってビルは解体され、駐車場として利用 	③